

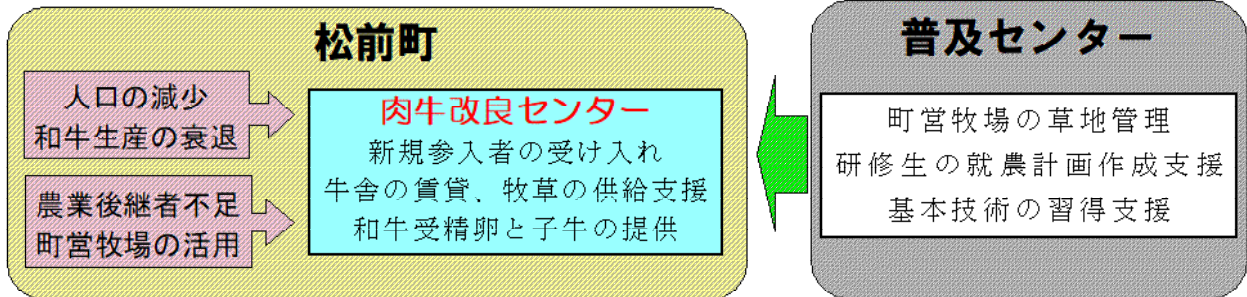
# 担い手の育成支援

令和4年度

～基本技術の習得～ 【松前町新規参入者及び研修生5名】（地域第3係・課題番号7）

## 1 課題の背景

令和元年11月、松前町肉牛改良センターが稼働した。町営牧場を利用し、減少が見込まれる農家の確保と、黒毛和種素牛生産頭数を補うべく、新規参入者を積極的に受入れ営農開始をサポートしおり、令和4年4月に1組が新規参入した。



## 2 活動内容（経過）

松前町の肉牛改良センターの新規参入希望の研修生と新規参入者に対し研修会を開催し、基本技術の習得を支援した。また、就農予定の研修生に対し、町担当者及び担い手主査と連携し「就農計画」作成等を助言した。

### (1) 担い手研修会の開催

就農予定の研修生を中心に、カリキュラムに研修生の希望を取入れながら、黒毛和種繁殖経営に係わる基本技術について研修会を実施した。

### (2) 就農計画の作成支援

令和5年4月に就農予定のB氏とC氏2名に対して、令和4年4月に新規参入したA氏の計画を基に、B氏は借り入資金を抑えた経営、C氏は借入資金を活用し早期繁殖牛を整備する経営計画を作成した。

### 令和4年度 松前町担い手研修会

開催日	内容	参加人数
6/2	・町営牧場の収量調査 ・草地管理の基本	3
6/23	・肉牛経営の基礎 ・就農計画について	4
8/4	・黒毛和種の系統と交配について	6
9/8	・繁殖経営のポイント	4
10/7	・和牛の飼料給与について	4
2/15	・和牛のコンディションについて	4



草地の収量調査を实践



研修会での座学

## 3 活動成果

(1) 研修生に対し令和3年までは、主に草地管理について研修を実施してきたが、今年度は飼養管理技術についての研修カリキュラムとなった。

(2) 就農予定の2名については、担い手研修会に合わせて就農計画作成の支援を行い、11月に就農認定された。

(3) 令和4年4月にA氏が新規就農して繁殖素牛の導入を開始した。本年は市場の素牛価格が低下しており計画よりも早く導入が進んだ。

### 研修生、新規参入状況

対象	年齢	研修開始	就農認定	就農年月
A	29	R2	R3	R4.4
B	42	R2	R4	R5.4
C	23	R3	R4	R5.4
D	31	R4	未定	未定
E	39	R4	未定	未定

## 4 今後に向けて

新規参入者に対して営農開始後の増殖計画（状況）を確認し、生産に向けた支援を行う。